

## ミャンマーにおける廃棄物発電の事業化調査に着手

～環境省より「静脈産業海外促進のための実現可能性調査等支援事業」を受託～

JFE エンジニアリング株式会社（社長：岸本純幸、本社：東京都千代田区）は、環境省より「ミャンマー国ヤンゴン市における循環型社会形成支援及び廃棄物発電事業の FS 業務（事業化可能性調査業務）」を受託しました。このたび当社が受託した業務は、ミャンマーで初の廃棄物発電の事業化調査となります。

現在、ミャンマー国ヤンゴン市では 1,600 トン/日の都市ごみが発生しており、今後の経済発展に伴いさらに増加すると考えられています。現在、ヤンゴン市は、発生した都市ごみを中間処理せず最終処分場で直接埋立しており、環境汚染が深刻な問題となっています。また、急速な人口増加・都市化により、電力不足も課題となっています。

当社は、ヤンゴン市の現状を踏まえ、都市環境プラントの導入を検討していきます。

具体的には、ヤンゴン市周辺地区における都市ごみの収集・処分の実態調査を行い、ごみ焼却の廃熱を利用した発電技術や生物由来の有機性廃棄物から発生するバイオガスを利用した発電技術など最適な処理プロセスを選定します。

当社は、本調査の完了後は、25年ぶりの再開が予定されている円借款及び PPP（Public Private Partnership）を活用し、ミャンマー国初の廃棄物発電事業の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

<参考>

ヤンゴン市周辺の都市ごみの現状（写真）



---

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。  
J F Eエンジニアリング株式会社 総務部広報室